

大会プログラム

大会プログラム

平成27年10月24日（土）

| | 大ホール | 401・406・407 | 瑞雲・福寿・蓬莱 |
|-------|--|---|---|
| 9:00 | 9:30～ 受付開始 | | |
| 10:00 | 10:00～11:30 (90分) 学術部セミナー 江戸期の養生 「江戸時代の養生から何を学ぶか」 戸ヶ崎正男 | | |
| 11:00 | 「吉益東洞の思想から考える現代日本の食養生」 平地 治美 座長：間 純一郎 | | |
| | 11:30～12:30 (60分) 会場準備・昼食 | | 11:30～12:15 (45分) 評議委員会 会場：蓬莱の間 |
| 12:00 | 12:30～12:45 (15分) 開会式 | | |
| 13:00 | 12:45～13:30 (45分) 会長講演 「日本鍼灸の特徴を考える －特に、艾および灸について－」 形井 秀一 座長：村田 溪子 | | 13:00～15:20 (140分) 市民公開講座 会場：福寿の間 「日本独自の鍼灸を育 んだ江戸文化」 1. 琵琶演奏 「檢校杉山和一・大高 源吾（二題）」 都流琵琶奏者 穂鳳 都 2. 講談 「名医と名優 ～男の花道～」 講談師 伊藤 琴遊 3. 「鍼灸学問所の創設 と杉山和一檢校の 功績」 (公財)杉山檢校遺徳 顕彰会 理事長 和久田哲司 |
| | 13:30～13:50 (20分) 国際部報告 「WFAS(世界鍼灸学会連合会)の動向と学術大 会の魅力～WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 開催に 向けて～」 齊藤 宗則 | 13:30～14:30 (60分) 学生セミナー 1 401 406 407 「背診」 「切経」 「脈診」 船水隆広 市川 篤 光澤 弘 | |
| 14:00 | 13:50～15:30 (100分) 課題発表4題 (各25分) (1)「江戸期鍼灸諸流派における膏の原・盲の原 －隔膜・募原・心包・三焦との関わり－」 奥村 裕一 (2)「『一灸万全』における三里への施灸」 小宮山乃輔 座長：金井 正博・小池 俊治 (3)「近世日本における医学公教育の形成 －経穴学教育を中心に－」 加畑 聡子 (4)「江戸期鍼灸書における病と治療穴の共通点」 松木 宣嘉 座長：鹿住 晴広・鳥谷部創治 | 14:30～15:30 (60分) 学生セミナー 2 401 406 407 「脈診」 「選経触診」 「背診」 光澤 弘 細川陽一 船水隆広 | |
| 15:00 | 15:30～16:30 (60分) 一般口演6題 (各10分) 「雲海土流から日本の古典を臨床に生かす (1) 林 弘観 「命門とは何か」 飯島 忠彦 「『鍼灸拔萃』と『鍼灸要歌集』の比較」 渡辺 幸子 座長：加賀谷暉彦・津田 昌樹 「触診トレーニングとしての按摩術の考察」 長沼 良和 「鍼灸養成校における東洋医学的診察に關する 教育状況の調査」 桐谷眞智子 「日本の伝統鍼灸における鍼施術の実態調査」 横山 奨 座長：今氏 崇人・原 オサム | 15:30～16:30 (60分) 学生セミナー 3 401 406 407 「経穴診」 「腹診」 「選経触診」 竹下 有 高橋 大希 細川 陽一 | 13:00～17:00 パネル展示 「昭和の先達の記憶 －日本経絡学会に 関わった人々－」 会場：5階ホワイエ |
| 16:00 | | | |
| 17:00 | 16:30～17:30 (60分) 特別講演 「鍼灸の歴史」 北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部部長 小曾戸 洋 座長：小林 詔司 | | |
| 18:00 | | | 18:00～20:00 懇親会 会場：瑞雲の間 |

平成27年10月25日（日）

| 大ホール | | 401・406・407 | 瑞雲・福寿・蓬莱 |
|-------|--|--|--|
| 9:00 | 9:00～9:40 (40分) 一般口演4題 (各10分) 「皮膚疾患における鍼灸治療の報告」 平野木代衣 「強い口渴を伴う鬱証の一症例」 原 元氣 「顔面部の尋常性座瘡に対する「天・地・人 -気街治療」-美容への影響」 加藤さやか 「天・地・人治療」(第7報) -熱のある風邪症状に対する「刺熱穴VAM FIT」の臨床例-」 武藤 厚子 座長：小野 博子・増田 真彦 | 9:30～10:30 (60分) 学生セミナー4 401 406 407 「経穴診」 「切経」 「腹診」 竹下 有 市川 篤 高橋 大希 | 11:00～15:00 パネル展示 「昭和の先達の記憶 -日本経絡学会に 関わった人々-」 会場：5階ホワイエ |
| | 9:40～10:30 (50分) 課題発表2題 (各25分) (5)「中神琴溪の診てきた病」 澤口 博 (6)「易占からみる江戸時代の疾病観」 桂田 大輔 座長：関 信之・林 孝信 | | |
| 10:00 | 10:30～11:40 (70分) 教育講演 「戦国時代の鍼灸史 -鍼灸の分科と流派の萌芽-」 森ノ宮医療大学大学院教授 長野 仁 座長：小林 健二 | | |
| 11:00 | 11:40～12:10 (30分) 会頭講演 「陥下について」 宮川 浩也 座長：真鍋 立夫 | | |
| 12:00 | 12:10～13:00 (50分) 日本伝統鍼灸学会総会・昼食 | | |
| 13:00 | 13:00～13:10 (10分) 日本伝統鍼灸学会学会賞表彰式 | | |
| | 13:10～14:00 (50分) 実技講演1 「日本の鍼灸を特徴づけた杉山流の管鍼術」 いやしの道協会顧問 東洋鍼灸専門学校非常勤講師 (財)杉山検校遺徳顕彰会理事 大浦 慈観 座長：奥村 裕一 | | |
| 14:00 | 14:00～14:10 (10分) 休憩 | | |
| | 14:10～15:00 (50分) 実技講演2 「江戸期における刺絡・員利鍼の変遷と実技」 東京九鍼研究会会長 石原 克己 赤門鍼灸柔整専門学校 東洋療法教育専攻科 浦山 久嗣 座長：木戸 正雄 | | |
| 15:00 | 15:00～15:10 (10分) 休憩 | | |
| | 15:10～16:00 (50分) 実技講演3 「打鍼と古代鍼の発掘と臨床応用」 日本伝統鍼灸学会顧問 一般社団法人北辰会代表理事 藤本 蓮風 座長：和辻 直 | | |
| 16:00 | 16:00～16:30 (30分) 総評・閉会式 「江戸はよみがえったか」 形井 秀一 他 閉会式 | | |

一般セミナー

特別講演 24日（土）16:30～17:30 「大ホール」

鍼灸の歴史

座長：小林 詔司

演者：小曾戸 洋（北里大学東洋医学総合研究所 医史学研究部 部長）

教育講演 25日（日）10:30～11:40 「大ホール」

戦国時代の鍼灸史－鍼灸の分科と流派の萌芽－

座長：小林 健二

演者：長野 仁（森ノ宮医療大学大学院 教授）

会頭講演 25日（日）11:40～12:10 「大ホール」

陥下について

座長：眞鍋 立夫

演者：宮川 浩也

会長講演 24日（土）12:45～13:30 「大ホール」

日本鍼灸の特徴を考える－特に、艾および灸について－

座長：村田 溪子

演者：形井 秀一（日本伝統鍼灸学会 会長・筑波技術大学 教授）

実技講演 1 25日（日）13:10～14:00 「大ホール」

日本の鍼灸を特徴づけた杉山流の管鍼術

座長：奥村 裕一

演者：大浦 慈観（いやしの道協会 顧問、東洋鍼灸専門学校 非常勤講師、
（財）杉山検校遺徳顕彰会 理事）

実技講演 2 25日（日）14:10～15:00 「大ホール」

江戸期における刺絡・員利鍼の変遷と実技

座長：木戸 正雄

演者：石原 克己（東京九鍼研究会 会長）

浦山 久嗣（赤門鍼灸柔整専門学校東洋療法教育専攻科 専任教員）

実技講演 3 25日（日）15:10～16:00 「大ホール」

打鍼と古代鍼の発掘と臨床応用

座長：和辻 直

演者：石原 克己（東京九鍼研究会 会長）

藤本 蓮風（日本伝統鍼灸学会 顧問、一般社団法人北辰会 代表理事）

国際部報告

24日(土) 13:30～13:50 「大ホール」

WFAS (世界鍼灸学会連合会) の動向と学術大会の魅力

～WFAS Tokyo/Tsukuba 2016 開催に向けて～

演者：齊藤 宗則

学術部セミナー「江戸期の養生」

24日(土) 10:00～11:30 「大ホール」

座長：間 純一郎

江戸時代の養生から何を学ぶか

演者：戸ヶ崎正男

吉益東洞の思想から考える現代日本の食養生

演者：平地 治美

課題発表

課題発表 1

24日(土) 13:50～15:30 「大ホール」

座長：金井 正博・小池 俊治 (演題①②)

座長：鹿住 晴広・鳥谷部創治 (演題③④)

①江戸期鍼灸諸流派における膏の原・旨の原—膈膜・募原・心包・三焦との関わり—

演者：奥村 裕一 (森ノ宮医療大学、奥村一貫堂)

②『一灸万全』における三里への施灸

演者：小宮山乃輔 (養生乃はり)

③近世日本における医学公教育の形成—経穴学教育を中心に—

演者：加畑 聡子 (二松学舎大学大学院文学研究科、北里大学東洋医学総合研究所医史学研究部)

④江戸期鍼灸書における病と治療穴の共通点

演者：松木 宣嘉 (四国医療専門学校 鍼灸マッサージ・鍼灸学科)

課題発表 2

25日(日) 9:40～10:30 「大ホール」

座長：関 信之・林 孝信

⑤中神琴溪の診てきた病

演者：澤口 博 (ウィル鍼灸治療院)

⑥易占からみる江戸時代の疾病観

演者：桂田 大輔 (回一堂鍼灸院、太子堂鍼灸院)

一 般 口 演

一般口演 1

24日(土) 15:30~16:30 「大ホール」

座長：加賀谷暉彦・津田 正樹(演題①②③)

座長：今氏 崇人・原 オサム(演題④⑤⑥)

- ①雲海士流から日本の古典を臨床に生かす(1)

演者：林 弘観(いやしの道協会)

- ②命門とは何か？

演者：飯島 忠彦(福岡医健専門学校・福岡高等視覚特別支援学校)

- ③『鍼灸拔萃』と『鍼灸要歌集』の比較

演者：渡辺 幸子(鶯谷書院)

- ④触診トレーニングとしての按摩術の考察

演者：長沼 良和(和ら会)

- ⑤鍼灸養成校における東洋医学的診察に関する教育状況の調査

演者：桐浴眞智子(大阪医科大学附属病院 麻酔科)

- ⑥日本の伝統鍼灸における鍼施術の実態調査

演者：横山 奨(明治国際医療大学大学院鍼灸学研究科 基礎鍼灸学講座 伝統鍼灸学分野、アイム鍼灸院 御茶ノ水・吉祥寺)

一般口演 2

25日(日) 9:00~9:40 「大ホール」

座長：小野 博子・増田 眞彦

- ⑦皮膚疾患における鍼灸治療の報告

演者：平野木代衣(福岡医療専門学校)

- ⑧強い口渇を伴う鬱証の一症例

演者：原 元氣(一般社団法人 北辰会)

- ⑨顔面部の尋常性座瘡に対する「天・地・人-気街治療」-美容への影響-

演者：加藤さやか(鍼灸指圧治療室 香庵~かのん~)

- ⑩「天・地・人治療」(第7報)-熱のある風邪症状に対する「刺熱穴VAMFIT」の臨床例-

演者：武藤 厚子(日本鍼灸理療専門学校・(財)東洋医学研究所)

学生セミナー「触診力」

| | | | | |
|-------------|--------|------------|-------|---|
| 第一講座 | | | | 24日(土) 13:30～14:30 「401・406・407」 |
| 401 | 「背診」 | 東京医療専門学校 | 船水 隆広 | |
| 406 | 「切経」 | 市川鍼灸院 | 市川 篤 | |
| 407 | 「脈診」 | 日本鍼灸理療専門学校 | 光澤 弘 | |
| 第二講座 | | | | 24日(土) 14:30～15:30 「401・406・407」 |
| 401 | 「脈診」 | 日本鍼灸理療専門学校 | 光澤 弘 | |
| 406 | 「選経触診」 | 愛知県立名古屋盲学校 | 細川 陽一 | |
| 407 | 「背診」 | 東京医療専門学校 | 船水 隆広 | |
| 第三講座 | | | | 24日(土) 15:30～16:30 「401・406・407」 |
| 401 | 「経穴診」 | 一般社団法人 北辰会 | 竹下 有 | |
| 406 | 「腹診」 | 東京衛生学園専門学校 | 高橋 大希 | |
| 407 | 「選経触診」 | 愛知県立名古屋盲学校 | 細川 陽一 | |
| 第四講座 | | | | 25日(日) 9:30～10:30 「401・406・407」 |
| 401 | 「経穴診」 | 一般社団法人 北辰会 | 竹下 有 | |
| 406 | 「切経」 | 市川鍼灸院 | 市川 篤 | |
| 407 | 「腹診」 | 東京衛生学園専門学校 | 高橋 大希 | |

パネル展示・市民公開講座

パネル展示 24日(土)13:00~17:00、25日(日)11:00~15:00 「ホワイエ」

昭和の先達の記憶ー日本経絡学会・日本伝統鍼灸学会の歴代の会長・副会長ー

製作：小林 健二（『伝統鍼灸』元編集長）

市民公開講座「日本独自の鍼灸を育んだ江戸文化」24日(土) 13:00~15:20 「福寿の間」

- ①琵琶演奏 検校杉山和一・大高源吾（2題）
都流琵琶奏者 都 穂鳳
- ②講談 名医と名優～男の花道～
講談師 伊藤 琴遊
- ③鍼治学問所の創設と杉山和一検校の功績
（公財）杉山検校遺徳顕彰会理事長 和久田哲司